

# 第2回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会 議事概要

## ●第2回 四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会

- ・日 時：令和3年2月16日(火) 13:30～15:30
- ・場 所：四万十市防災センター会議室
- ・出席者：四万十市長、四万十市教育委員会教育長、四万十市区長会会長、  
中村商工会議所会頭、(一社)中村青年会議所理事長、  
四万十つるの里づくりの会会長、四万十川自然再生協議会会長、  
高知野鳥の会会長、国土交通省中村河川国道事務所所長
- ・講 師：北海道長沼町長 (WEB参加)
- ・事務局：国土交通省中村河川国道事務所、(公財)日本生態系協会 (WEB参加)

## ●開催状況



## ●議事

- ・「四万十川流域におけるツル類の飛来・生息状況」、「ワーキングの開催及び取組状況」、「四万十川流域生態系ネットワーク全体構想」について議論した。  
また、生態系ネットワーク形成の先進地域である北海道長沼町との意見交換会を行った。

## ●主な意見

### □銃猟の規制に向けた取組について

- ・ツル類の越冬を目指すならば、銃猟は規制しないといけないのではないか。
- ・銃猟が続く限り、四万十川流域はツル類の恒常的な越冬地にはなりがたいと考える。
- ・銃猟の規制範囲は、河川内にとどまらず、田んぼ等も含めて検討した方がよいのではないか。

### □北海道長沼町との意見交換会について

- ・タンチョウをまちづくりに結び付けている長沼町の取り組みは素晴らしい。四万十川流域においても、地域におけるツル類への理解を促進し、同じ方向を目指したい。
- ・長沼町ではタンチョウをイメージした商品が多く開発・販売されている。農産物についてもブランド化の検討を進めているとのことである。四万十市においても、ツル類が飛来することで、農産物に付加価値をつけて販売できるようにしていきたい。